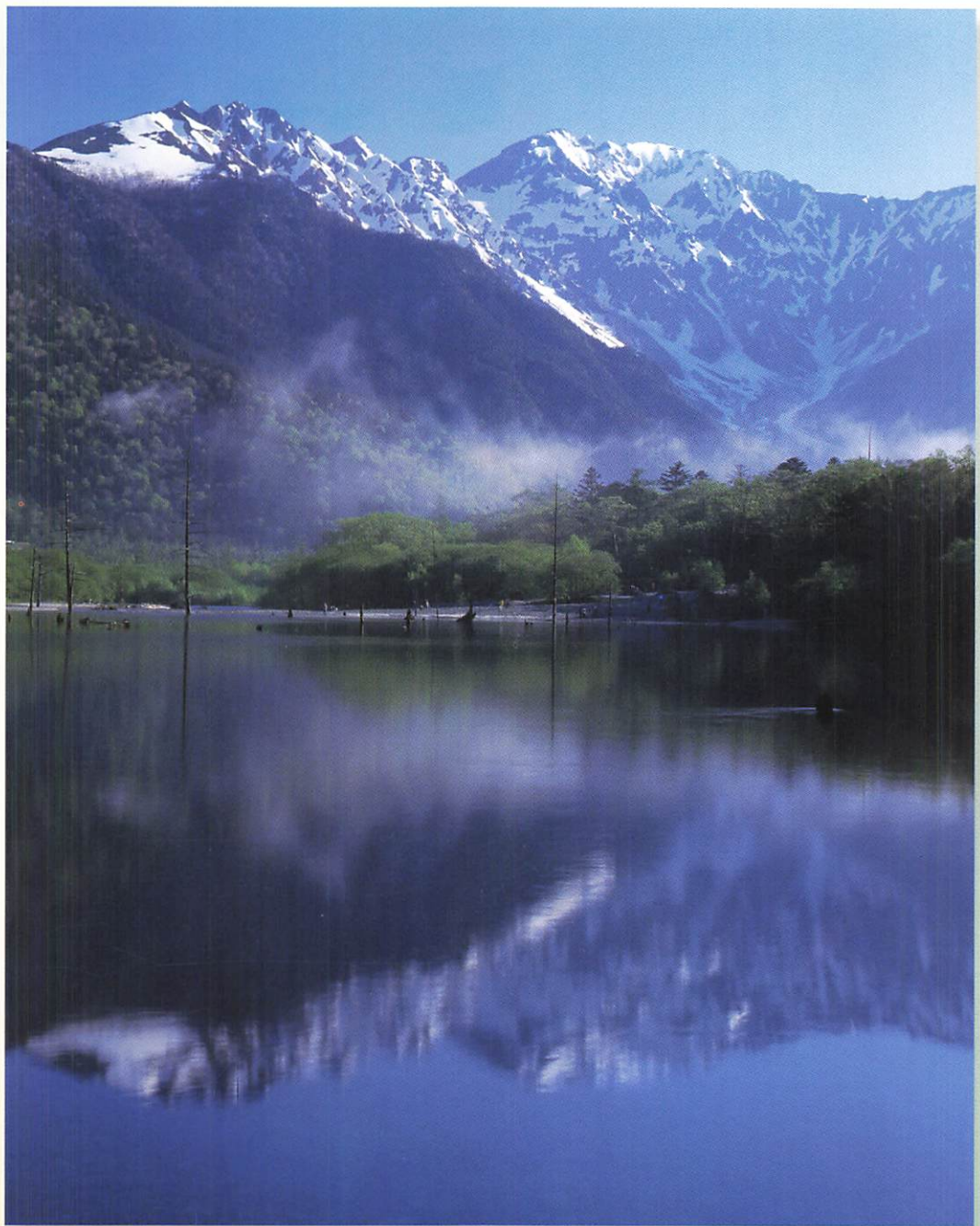


翔

第30号 (平成26年9月1日)



山原昌娃きもの着付学院

市民文化祭

きもの着付ショー

■と き 平成25年11月2日(土) PM2:00 ~

■ところ 石川県七尾美術館 アートホール



第15回 きものの文化を楽しむ

テーマ「等伯に寄す」にちなみ、七尾から京へ旅立ちの景。当時を再現し若き等伯と晩年の等伯さんも登場いただきました。

七尾市文化協合理事長 橋元道彦様よりご挨拶をいただきました。



等伯さんに思いを寄せて

七尾準師範会 春木 直樹

「等伯さんは、どのような思いで上洛したのだろう」妻と、幼い息子を連れての旅立ちには、強い覚悟があつて、晴れ晴れとした心持ちであつたのではないかと考えながら舞台上に立ちました。

この等伯さんを家族で演じませんかとお声を掛けて頂き、最初は戸惑いましたが、これも有難いご縁と思い引き受けました。その当時はどのような衣装でいたのかと考えた時、野袴スタイルに近いものではないかと思ひました。それで晩年を演じた



髪には金の飾り、たすきがけ タイコをもって踊ります

父も、野袴に袖無し羽織で舞台に立ちました。また妻も華美にならない、子供は子供らしい衣装を選びました。
七尾の、いや日本の宝である等伯さんを、演じさせてもらえた事は、私共家族の貴重な思い出となりました。



振袖のお袖の扱い

着付けのこつ
学院長が解説
七尾でショー
七尾市の山原昌雄さん
もの着付学院の着付け
ショーが二日、同市小
丸山台の県七尾美術館
であった。
あてやかな振り袖姿
の生徒が登場すると、
山原学院長の袖のあ
しらい方や手を組む
位置、写真撮影時のポ
ーズなどを観客に解

北陸中日新聞掲載

説明。帯結びの実演では、帯を締める高さや、背部の膨らみの大きさなど、美しく見せるポイントを伝え「個性を大切にしてほしい」と呼び掛けた。
安土桃山時代から江戸時代初期に活躍した七尾出身の絵師長谷川等伯が当時着ていたあつち着物の再現や、
その場で結んだ帯を観客に見せる出演者
県七尾美術館で
江戸時代の着付けの紹介もあった。
(鈴村隆一)



第9回 七尾



自装でほつ

七尾準師範会 上原 幸子

華やいだ中にも緊張した空気の着替室に居る。市民文化祭「等伯に寄す」の自装で銀座結びの出演で。着付けの初めから私のお気に入りの帯結びのひとつ。でも……舞台の上で結びという事。さあ大変！俄然心が引き締まり結びの復習を始める。結びに取りかかると仕上げの時間に気を取られ形にならず失敗！基本の手順を抜かしたら又不出来。眼を閉じて繰り返し返しようやく勘を取り戻し当日を迎えた。別世界の空間にいる感覚ながら手順の通り進める。銀座結びの決め手の帯締めを手に両手いっぱいに下げて、タレの内側からあててふくらみを作る。制限時間内でゆとりありふわふわ感覚からやとと着地した。友人から手際が良かったと声を貰い、ほつと一呼吸の自装でした。

初めての実技披露

松井教室 大根 佳代

一年前の講習会に初めて参加させて頂いた時に『新講師による実技披露』を拝見しました。この時「舞台で着物を着て、帯を結ぶなんてすごい！私には無理。」と思いました。

が、一年後、良き出会いと導きのおかげで自分が同じ立場にありました。私は、『あがり症』で人前に出る事が大の苦手です。当日は、とても緊張しながら「一緒に練習してきた仲間がいるから大丈夫。いつも通り。」と自分に言い聞かせ、実技に挑みました。終わった後のほつとした気持ち、仲間の笑顔は、今でも忘れる事ができません。



この一年は、何かに挑戦する事、努力する事の大切さを学ばせて頂いた、とても有意義な時間でした。皆様に感謝です！

森先生と一緒に

まさこ教室 田中多恵子

きもの着付けショーが11月2日美術館で行われました。私は故森先生の追悼をかねて、森教室の生徒による二重太鼓を相手に結ぶに参加しました。森先生が亡くなられて初めての着付けショーです。何度かショーには参加しているのですが、やっぱり緊張しましたが、森先生がこの会場のどこかで見ていてくれていると思いますながら頑張りました。綺麗に仕上がった後、森教室を代表して石川先生の挨拶があり、聞いていると先生との思い出が浮かんできて涙が出てきました。



今回の着付けショーも、森先生と一緒に参加している“そんな気持ち”がしてなりませんでした。これからも教室の仲間と一緒に頑張っていきたいと思っています。

「森先生安心して見守っていて下さい」

町娘に紛しタイムスリップ

七尾準師範会 池田 孝子



等伯に寄す——の一環で、二枚の着物を重ね着。帯は、時代をかもし出すという事で縞、又は格子の半中で、舞台に立つということになった。そこで私は、重ね着の下に藍色、上に墨黒を重ね、金銀黒三色の格子の帯を片流しの文庫に。加えて重ねた下の着物の裾を見せる演出に一寸五分程藍色をのぞかせ腰の帯下に緋色のしごきを左前に結んで町娘となり江戸時代にタイムスリップ。美術館のアートホールのライトを浴び、ポーズを決めニッコリ。以前、七尾美術館に展示された等伯「松林図屏風」に心と身が震えた事を思い、不思議な縁を感じた。

の集い』

平成26年2月23日(日)

於 和倉温泉 あえの風



小田禎彦 様



小林良子 様



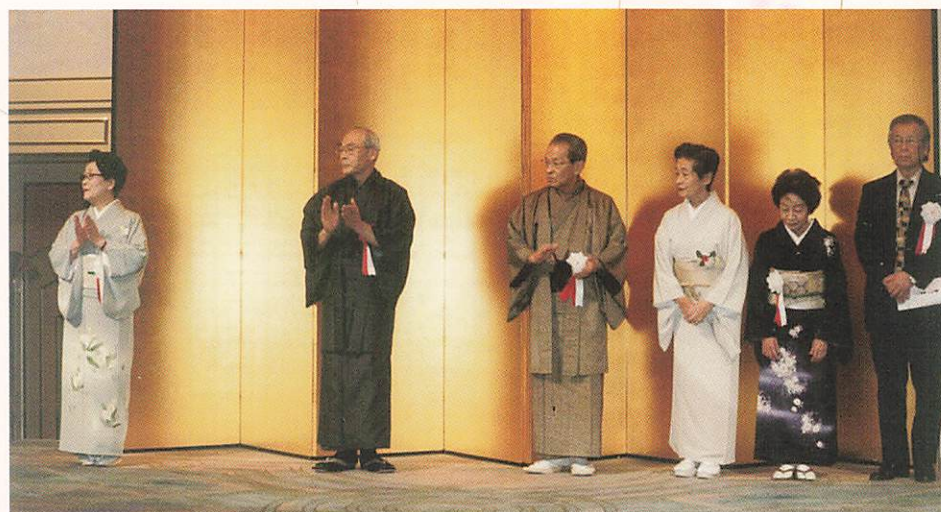
七尾市文化協会会長
武元文平 様



橋元道彦 様



山原昌娃 学院長



小田禎彦会長夫人も参加くださいました。

『きもの文化を楽しむ会』が設立され、二月二十三日、七尾和倉温泉「あえの風」にて開催されました。
出席者全員にスポットがあたり、華やかなきもの姿に拍手が湧きおこりました。きもの文化を楽しむ会会長小田禎彦様は「着物の輪を広げ地域の活性化につなげたい」と挨拶。ご来賓の武元文平様より「日本の伝統文化を大事に未来をともに歩もう」とご祝辞をいただき、喜びをわかち合いました。

石川県和装振興会会長吉村 一様より祝電とお祝いをいただきました。ありがとうございました。お礼申し上げます。

きもの文化を楽しむ会役員

会長 (株)加賀屋代表取締役会長
委員 エッセイスト
委員 七尾市文化協会理事長
委員 フォーラム七尾館長
委員 山原きもの着付学院長

小田 禎彦
小林 良子
橋元 道彦
向田 秋子
山原 昌娃

実行委員

中座 道子・河原佐代子・竹田 幸子・久木満津美
田中ひとみ・藤田 寿代・神前 淳子



200人が和の美披露

県内の着物愛好家が集い、魅力発信につなげる「きもの文化を楽しむ会」が設立されて二十日、七尾市和倉温泉の旅館で「きもの集い」を開いた。

「タンスの中の着物に光を」というテーマに合わせて、会員二百五人が色とりどりの着物姿で出席。式典では、十人ずつがスポンサーの文化を楽しむ会七尾で設立イベント。

トライトに照らされ、たわやかな所帯と笑顔で和の美を披露した。小田嶋孝会長は「着物は日本にしかない宝。能登や石川に着物の輪を上げ、地域の活性化につなげたい」とあいさつ。市文化協会の武元平会長は「着物は一人一人を輝かせてくれる。日本の伝統文化を大事にしてほしい」と呼び掛けた。

(志村拓)

26年2月24日 北陸中日新聞

第1回 『きもの』

～タンスの中のきものに
光をあてましょう～



『初春の集い』から『きものの集い』へ 学院長 山原 昌娃

昭和、平成と三十年近くのときを刻んだ『初春の集い』。

習い始めて一年未満の方は「装いコンテスト」。チームワークで頑張った「帯結びコンテスト」でトロフィーを手にしたあの時の笑顔。賞金でワイワイ飲んだコーヒ―は極上の味でした。

永い歳月を経て「帯結びコンテスト」から「トータルの美」へと内容も変わりました。創作重視の帯結びを卒業し、「トータルに美しく」です。高い目標に向かい、年々参加者の技術の向上がありました。出来栄が素晴らしく、近差での審査は大変でした。また、参加者百八十名全員が振袖を着て華やいだ年もありました。

きもの良さを分かりながらも、きもの離れと言われる現代。私達だけで楽しんでいてはもったいない。この『初春の集い』をオーブンに出来ないか。きものを好きないろいろな方々と一緒に楽しめる催しになれば、楽しみを分かち合える。山原きもの学院の「初春の集い」から、いろいろな方々と「きもの文化を楽しむ」ことへの発展を考えはじめます。大切なものを守り離すことにより、もっと大きなものを守る事が出来れば、学院の皆様も

納得して戴けるはず。

二、三年前からこの思いはお伝えしつつ、学院の中では準備を進めておりました。しかし、一月に入っても会の名前等何一つ決まっていませんでした。それでも決めていかないと前へは進めません。決定権のない中で、委員の小林良子先生にご相談しながら、当日を迎える事は出来ましたが、やはり準備不足だったと思います。

当日は学院の皆様の笑顔に助けられての発会でした。いつもと変らぬスタッフの準備、進行がありました。次は「羽織の講義」です。とマイクの声に耳にした時には、羽織のモデルさん達は舞台ソデにすでにスタンバイ。毎年毎年たくさんの方をこなしてきただけの事はある。学院の方々はやはり素晴らしいと感じました。心働き、気働きが身に付いているので自分から動く事が出来る。役立つ人に育っている事を再確認した『きものの集い』でした。

主催は「きもの文化を楽しむ会」ですがこの会は学院の皆様が主軸です。さらに発展していきますよう、皆様で育てて戴きたいと思えます。魅力ある『きものの集い』になる事を願いつつ。



2014/02/23



2014/02/23



スポットライトをあびるみなさん

山原昌娃きもの着付学院・学院長による『羽織について』の講義と実演。羽織の種類。羽織丈、羽織ひもが時代と共に変化している事。乳の位置の大切さ等々。羽織がまた注目をあびている今、興味ある内容で、華やかな雰囲気の中にも緊張感がある講義でした。



七尾市文化協会常任理事 西村 正悦

「黒足袋履いて着物で参加してね」と言われ、気軽に「わかりました」と返した後、とても後悔しましたが、そのお陰で三十数年前に亡き母の立てで作った大島に、光を当てるこ

とが出来ました。

当日の着付をお願いする勇氣も無く、我流で久しぶりに角帯を締め着物姿になってみましたが、どう映ったでしょうか？

着物を着る文化の衰退を自ずと体感した日でもありましたが、心地よさを思い起こさせてくれた日でもありました。

「たんすの中のきものに光をあてましょう」、をテーマに第一回を開催されたことに、深く敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

師範会 久木満津美

初春着物コンテストと云う長い歴史を中止し着物が好きな人、着物伝統を守りたい人が集う会と云う事で第一回が立ち上がり二月二十三日『あえの風』にて実行委員も一般の方に入っていただき一回目が盛大に開催されました。

山原先生が今また見直されている羽織についてのいろいろな事を講義され、学ぶことが出来ました。しかし、今後の課題も多く残ったような気がします。着物離れする今日、着物が好きな方々をどのように参加してもらい着物の伝統を守っていくかと云う事です。一人一人に声を掛け



ながら着物の集いが長く、続けられる事を願います。

師範会 田中ひとみ

二月二十三日(日)きもの文化を楽しむ会が、和倉温泉「あえの風」において発足、開催されました。市民の皆様をはじめ県内外の「きもの好き」の方々に大勢参加していただくことが開催趣旨のひとつでもありました。当日は200名余りの方々の参加があり、おひとりおひとりにスポットが当てられました。

「きもの文化を楽しむ会」会長小田禎彦氏の開会の挨拶では、朝刊に掲載されていた天声人語に「粋な人」「野暮な人」にふれ、垢抜けて

今年二月、誰でも気軽に参加できる第一回『きものの集い』が「きもの文化を楽しむ会」主催で開催されました。ダンスの中のきものに光を―を合い言葉にしたこの集いに二〇九人の方が参加し、きものの多彩な魅力を楽しみ、お互いに伝統文化の奥の深さを再認識いたしました。

「きもの魅力を粋、野暮から語った小田垣彦会長の主催者挨拶、きもの文化を生活の中から話した武元文平七尾市文化協会会長の祝辞、ユーモア溢れる橋元道彦先生の乾杯、凄いです。金沢から参加したかいがありました」 「山原先生の羽織の講座は興味深く参考になりました。来年も参加します」

初めて参加された方の高い評価に、私は思わず胸を熱くしました。

山原先生に誰でも参加できる『きものの集い』の構想を聞いたのは二年前、山原きもの着付け学院の「新春の集い」の席でした。私は思わず「学院の名前を外していいの」と問い返しました。先生の学院にかける情熱と努力、学院生への限りない愛情を知っていたからです。「きものってほんとに素敵なの。みんな



「きものの集い」 ありがとう

エッセイスト 小林 良子様

と一緒にもものを楽しみたいのよ」と答える先生の言葉に、先生と出会った昭和四十年代を思い出しました。

それは終戦で与えられた男女平等、参政権に甘んずることなく、女性もしっかりと学び、社会活動に参加すべきとの風潮が地方にも波及した頃でした。

私たちは七尾市が開設する婦人学級で学び、社会活動にも参加しましたが、先生はリーダー的存在でした。やがて社会教育課から社会教育指導員に―と望まれました。お願いする私に先生はこの言葉を繰り返して断り、着付けの道を歩まれ、学院を立ち上げて夢を実現されました。

あの日から約三十年、社会変化に従ってきもの離れが進んでいます。その流れの中で先生はきもの魅力を知る講師会、学院生と心をつなげて母から子へ受け継がれたきもの文化を次世代に繋ぎたいのだと思います。久しぶりに着物を着てフィナーレ「花は咲く」の合唱を聞き、背筋がピンと張りました。そしてこの姿勢、この思いが日本文化の原点だと気づかされました。

はりのある艶っぽさが「粋な人」であると話されました。会食後の「羽織」についての講義では、男性参加者全員にモデルとなって登壇していただき粋な姿を披露していただきました。

日本文化が世界から注目を浴びている昨今、きものに関わるひとりとして伝統文化の継承に一役できればと思っております。

師範会 藤田 寿代

きもの文化には、古来より様々なシーンがあります。日本の歳時記や暦、そして人生の大きな節目節目に於いての関わり。また生活の一部に取入れられている場合、お稽古での身だしなみ等三者三様であっても、袖を通した時の、帯を締めた時の、凛とした緊張感、見る側に立てば、何をも圧倒する存在感は他には見当たりません。

二月に「第一回きものの集い」が催され、各分野でご活躍されている方々、学院の皆様が一堂に会し、きもの文化に触れた一日でした。きもの姿を通して、お一人お一人の着物への想いや、思い出を語って頂いた気が致しました。このページを十年後も二十年後も頂ける事を楽しみにしています。



平成26年度 資格授与式・半幅帯百撰

とき 平成二十六年七月二十日
ところ 七尾美術館アートホール

山原昌娃きもの着付学院の資格授与式が十一時より行われました。資格取得者一人ひとりに学院長より資格証と木札が手渡されました。その後、実技披露。午後からは、会員各自が創作した半幅帯結びのコンテストが行われました。



「野に咲く花のように」を合唱し式を始める



新師範 尾西ゆき子先生



新師範 石川 勝子先生



新師範 岩城 圭子先生

資格授与式・講習会に参加して
ふみ娃教室 平澤 純子
去る七月二十日、着付けを習い始めて二年目の夏、授与式・講習会を拝見しました。大勢の着付け仲間が見守る中、四人の講師取得の方が音



喜びの気持ちを山原学院長へ



新準師範の先生方のすっきりした姿



新講師によるすばらしい基本着付

楽に合わせて自分で着物を着ていく。一人一人の日々の稽古風景や猛特訓が想像され、頑張りやご苦労が私にも伝わり、感極まり涙が溢れました。
いつか自分も四人の方のように、きれいに手早く着付けられるよう精進を決意した一日でありました。
午後より、半幅帯百撰と題して先輩方の創意工夫された帯結びに感心し、結び方の種明かしに納得したりと有意義な時間でした。
我が教室の竹ヶ端先生も半幅帯員の口結びのアレンジで最終選考に残り、嬉しく拝見しました。

おめでとうございます

金沢準師範会に所属している、
宮本良子先生が、瑞宝単光章を受
章されました。
お祝いの気持ちをこめて、花束
をお贈りしました。



半幅帯百撰

半幅帯一本の部、半幅帯一本に1
／4本分を足しての部、半幅帯二本
を使っての部と三つに分かれて、各
自が創作した帯結びを発表しまし
た。

出場者は五十六名、参加者の約半
数を優秀とし、そのまた半数が残り
最優秀（八人）は、会より金一封が
贈られました。

最優秀の結び方の解説もあり、参
考になりました。



半幅帯 1本の部



半幅帯二本の部

長い帯を使って

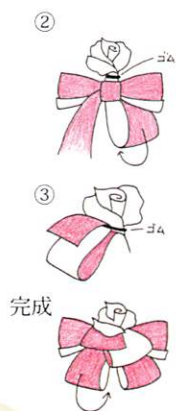
金沢準師範会 荒木 祐佳

帯で遊ぶのは大好きなので、半幅
帯百撰の話を聞いた時は、どんな結
びにしようかワクワクしました。コ
ンテストという事もあり、できるだ
け簡単に豪華に見える様に長い帯を
使い、当日結んでみて、残りで飾り
を作る事にしました。気楽に考えて
いたので、まさか最後まで残るとは
思っていなくて、結び方を説明する
時は緊張して上手く伝える事ができ
ませんでした。今回使用した帯は4・
2mです。花の形を変えたり、バイ
ヤスひだで葉っぱにする等のアレ
ンジもできます。

①たれと手先が同じ長さになる様に
リボン結びをする。羽根の端を折り
返して裏地を出す。

②手先を結び目の下にくぐらせ、右
端を花芯にして左端を巻き付ける様
にバラにして根元をゴムで止める。

③同じくたれ先も下からくぐらせ、
花びらの続きになる様にバランスを
考え斜めにずらしてたたみ、バラの
根元とあわせてゴムで止める。



真剣に審査をする先生方



半幅帯一本の部

資格取得者一覧

師 範



岩 城 圭 子
金沢市南森本町

「自分でできるものを着たい」

二十数年前、軽い気持ちで習い始めた私が、この度、師範の資格をいただきました。ありがとうございます。これも学院長始め、諸先生方の励ましとご指導の賜物であり、仲間と言う友人達のお蔭と、家族の協力があつての資格と思っています。

今後とも、よろしく願います。



石 川 勝 子
七尾市郡町

師範の資格をいただいて

一人で着物が着られたらいいなあと思っていたとき、教室に誘われて早や二十年！このたび師範の資格を頂くことになり大変うれしく光栄に思っています。これも学院長はじめ諸先生方、それに共に学んだ仲間の皆様の支えがあったからだと感謝しております。初心を忘れず！更に学びを深くしたいと思っています。



尾 西 ゆ き 子
金沢市小金町

山原学院長始め、諸先生方の温かいご指導と良き友に支えられ、この度師範の資格を頂き、心より感謝申し上げます。

四季折々の自然が凝縮された着物、人生の節目節目に着る儼かで華やかな着物、そんな素敵な着物に携わって早や20年。

一人でも多くの方に、着物の魅力と着る楽しさを伝えて行けるよう、より一層技術の研鑽に努めてまいります。

準 師 範



竹 内 雅 美
金沢市荒屋

この度は準師範の資格を頂きありがとうございます。

この度は準師範の資格を頂きありがとうございます。ここまで続けてこられたのは、よき先生と仲間に出会えたおかげと感謝しております。今後、ときめきと向上心を持って勉強していきたいと思えます。次の目標は、娘の成人式にきれいに振袖を着せること。頑張ります。



丸 田 真 弓
金沢市金石

この度、準師範という身に余る資格を頂きました。学院長を始め、諸先生方、良き仲間、家族に心から感謝しています。着付けをする度、その奥深さを知り、もっと上達したいという気持ちが強くなりました。

今後も、資格に恥じないよう勉強をし、更なる技術の向上を目指したいと思います。



平 山 広 美
七尾市

思い起こせば、熱し易く冷め易い性分は何ひとつ長続した事がない私が、この度は準師範という資格を授かり、山原先生をはじめ多くの方々のお力添えが無ければ到底成し得なかった事に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。



長 澤 雅 美
金沢市石引

尊敬する山原先生や諸先生方の温かいご指導と優しい仲間のおかげで準師範の資格を頂き感謝しております。気



北陸電力公認

電気工事一般

フタクチ電設工業株式会社

〒929-1215
石川県かほく市高松ミ5番地3

TEL (076) 281-1918(代)
FAX (076) 281-3128

資格取得者一覧

を引き締めて、多くの方のお役に立てよう努力し、着付けの楽しさや喜びを分かち合えるよう、技術と心を磨いていきたいと思えます。よろしくお願いたします。



竹田 宏枝
七尾市本府中町

この度、準師範という身に余る資格を頂き心引き締まる思いです。今日まで続けてこられたのも、学院長始め諸先生方、よき仲間、家族のお蔭と心から感謝申し上げます。今後もより一層の努力、そして精進して参りたいと思えます。どうぞこれからも宜しくお願致します。



清酒 利津子
七尾市東三階町

一人で着物を着れる様になりたい一心に習い始めた着付け教室。着物に恋をしていたところへこの度、準師範の資格を頂く事となり、身が引き締まる思いでいっぱいです。これからもより一層精進して参りたいと思えます。

講師



江上 育子
河北郡

この度、講師の資格を頂くことができたのも、熱心にご指導くださった山原先生、羽賀先生、諸先輩方のお蔭と心より感謝しております。

これからも楽しみながら努力を重ね精進致しますので、よろしくお願致します。



三浦 ひとみ
金沢市

義母の着物姿に憧れて、習い始めた着付けです。

「習うとは長く続けて慣れるということ」との山原先生のお言葉を心に刻んで、今日まで楽しく続けてこられました。これからも初心を忘れず、より一層努力していきたいと思えます。



池上 和織
鹿島郡中能登町

講師の資格を頂くことができ、大変嬉しく思います。

熱心にご指導下さった山原先生、背中を押して下さいました三浦先生や仲間に変感謝しております。

これからも着物を楽しみながら続けて行きたいと思っています。



北出 智恵子
羽咋市

山原先生、諸先生のご指導のもと講師資格を頂き深く感謝申し上げます。良きお仲間と共に学ぶ事が出来ました事もとても良い思い出です。

これからも精進を重ね楽しく学んでいきたいと思えます。

山原昌娃きもの着付学院の各会・各教室の今年度役員の皆さんです。よろしくお願致します。

山原昌娃きもの着付学院 役員名簿&認定校・連鎖校役員一覧

会 名		H26度役員	
師範会	田中カフミ	山田 清美	
七尾準師範会	宮本 徳子	松井三恵子	
金沢準師範会	西尾 恵子	竹村 明子	
七尾講師会	細田 節子	春木 勝子	
金沢講師会	荒木 幸子	相川 佳子	

教室名	先 生	H26度役員	
氷見教室	田中先生	南 照子	谷口 京子
金沢教室	中座先生	会津メイ子	
羽咋教室	石端先生	新古 嘉子	古畑万里子 靴田 フミ
まさこ教室	石川先生	田中多恵子	松井 俊子
松井教室	松井先生	東度 静代	
田鶴浜教室	藤沢先生	松田 浩美	水野 芳子
鹿西教室	三浦先生	朝倉 瑞貴	
西谷教室	西谷先生	橋谷多津子	
高松教室	堀井先生	南 祐記	丸田 真弓
吉田教室	吉田先生	大和亜希子	
津幡教室	浅井先生	吉田 明美	

松乃鮎

本社 石川県七尾市矢田新町チ8-9
〒926-0015 TEL (0767) 53-0053
FAX (0767) 52-0012

本店 石川県七尾市府中町220-6
〒926-0041 TEL (0767) 52-0053
FAX (0767) 57-5454

自家製、手作りの
一夜干し、焼魚

竹一



能登食祭市場店

TEL 0767-52-9807

金沢市中日文化センター 開設40周年記念

文化祭



■芸能発表 7月27日 於 金沢市文化ホール大ホール

きもの着付け (水・土曜日 朝)

(指導 山原 昌娃 講師)
(指導 敷下 全子 講師)

きもの着付けの講座では、半衿のかけ方、足袋のはき方から学びます。冠婚葬祭それぞれのTPOに応じた装い方・立ち居振る舞い・マナー等も併せて学びます。着物の良さ、着付けの楽しさを知り、素敵なきもの美人を目指しています。

■振袖を着せる

太田久美子 中嶋靖子
(モデル) 西川ふく美
橋本亜希子 荒木幸子
(モデル) 新谷愛子

■留袖を着せる

後藤幸子 西尾恵子 岩城圭子
江端良子 竹内久美 東きよえ
塩嶋國子 吉本ちえみ

■訪問着を着る

長澤雅美 村上黎子 藤井妙美
角島早苗

■名古屋帯を結ぶ

中山俊美 福島直子 山科賢美
蟹 紀子 石田重子 鯉野叔子
鯉野野麦

観せて戴きました

師範会 織田しずる

七月二十七日(日)、金沢市中日文化ホールで、金沢中日文化センター開設40周年記念文化祭、芸能発表会がありました。山原きもの着付学院も出演されると聞き、私達も七尾より見に行きました。

大きな舞台で振袖、留袖を着せる、訪問着を着る、名古屋帯を結んだり短い時間で今迄にない、「静と動」をうまく組み合わせた演出で、出演者の日頃の努力が実を結び舞台の上ではとても輝いて見えました。

留袖を着て立つ人が(静)振袖を着る人が(動)をうまく組み合わせた動きがとてもよかったと思います。若い人達の中に年配の方も頑張っておられ私も元気づけられました。

振袖部門

金沢講師会 荒木 幸子

今度、ペアで振袖を着せる部門に初参加させて頂きました。(見ている人が分かり易く、綺麗な動きで)山原先生のご指導で私達も懸命に練習。当日は先輩のリードに助けられ役割をこなす事が出来ました。仕上

がったモデルさん二人の笑顔で優雅なポーズに、客席から温かい拍手が湧き、感謝です!!留袖、他部門の先生方も堂々としておられ、皆が輝く発表会でした。

“和氣藹々、でも、やる事はやる”教室の一員として嬉しい体験でした。

山原先生、諸先生方、共演の皆様、暑中駆けつけて下さった方々に心よりお礼申し上げます。



留袖に参加

金沢講師範会 江端 良子

中日文化センター開設四十周年を記念した文化祭に参加しました。ペ

アを組み、相手の方に留袖の着付けをしてから舞台ではモデルになり帯を結んで頂く事になりました。練習時間があまり取れず、不安と緊張の中で参加した発表会でしたが、終わった後は清々しい気持ちになりました。自分の未熟さを痛感しましたが、参加する事で色々勉強させて頂きました。

留袖に参加

金沢準師範会 吉本みちえ

中日文化センターのは発表会が、金沢文化ホールで開催されました。私は留袖の部に参加させて頂きました。リハールでの山原先生の熱心な御指導よりみるみる内に全体が一つにまとまって行きました。凄い一言です。

いよいよ本番。幕が上って静かに「花子とアン」の曲が流れます。毎日何回も聞いている曲なので、自然と落ちつく事が出来ました。モデルさんに帯を胴にまいて、仮ひもをした所で一度手を止めて前を向き、動作を静止。全体の流れを楽しく見る事が出来て、とても新鮮でした。皆、生き生きと笑顔で輝いて見えました。ステキな舞台に立てて光栄でした。

訪問着を着る

金沢講師会 藤井 妙美

ドキドキワクワクで迎えた発表会当日でしたが、お陰様で無事終えることができた、感動と感謝の気持ちで一杯でした。出演した皆の顔がとても清々しかった事も印象的でした。

暑い中汗を拭きながら練習し、皆で一つの目標に向うことの大切さも実感いたしました。とりわけ日が浅い名古屋帯の帯結びの方々の成果は素晴らしいかと思います。

ご指導いただきました山原先生はじめ諸先生方、お忙しい中客席で温かく見守って下さいました学院の皆様、心より感謝申し上げます。



名古屋帯を結ぶ

土曜日教室 石田 重子

中日文化センター開設40周年、心よりお祝い申し上げます。榮譽ある記念の舞台発表に参加でき、身に余る光栄です。思い出すたび不安感・緊張感・達成感等が湧き起こり、感動で胸が熱くなります。遂に、名古屋帯が自分なりに結べたのは、着物の化身のような気高き山原先生、薙下先生、会員の皆様の熱い御指導と励ましの賜物！感謝の念で一杯です。練習を重ねる中で真剣に取り組む皆様は、心が一つになり、凛と咲き誇るひまわりの如く、一体感を覚え魅了されました。不可思議な魅力を持つ着物、大好き。

名古屋帯の部

水曜日教室 福島 直子

幕が上がり、「花子とアン」のテーマ曲が流れました。振袖の着付けが始まります。私は、舞台のそでで待ちながら、緊張感で名古屋帯を持つ手が震えました。でも、舞台上上がり、山原先生の声を聞きながら着付けを進めていくうちに、いつの間にか心が落ち着いてきました。「ありがとうございます。」の挨拶で幕

が下りるまであつという間でした。初心者の方にとつて、舞台に立つのはとても不安でしたが、終わってみると楽しく充実感で一杯になりました。今回参加させて頂いたことに深く感謝いたします。



NPO和装教育国民推進会議

石川県支部 山原昌娃きもの着付学院 活動報告

係をして

師範会 山田 清美

夏、テレビを見てみると 浴衣姿の女性が目に飛び込んでくる。とてもキュート！そんな映像を見て中学生は「着てみたい。」と思っているだろう。でも「自分で着るのは難しい。」とも思っているだろう。もし、授業の中に1時間でも和装の授業があったなら。浴衣姿に歓声を上げ、悠久の時を思うのではないかな。

今年もNPO和装教育国民推進会議にご協力いただきありがとうございます。にも関わらず、なかなか思うように進んでいないのが現状です。

そのような中でも学院長はじめ担当の先生方は 教育委員会等、精力的に出向き 何とか実が結ぶよう頑張っておられます。今年は副読本として「きもの読本」も出来ました。私達会員も協力のためのアンテナを張り、いつでも実践に出向けるよう知識、技術を磨いて中学校への和装教育の実現へと頑張ります。



白山市立笠間中学校の着付教室に参加して

金沢師範会 岩城 圭子

着付教室参加を終えて、感じた事は『子ども達の集中力と吸収力はすごい！』の一言でした。三十五分の短い時間の中で、子ども達に着物を着ること、帯を結ぶこと、着物をたたむことを、実践してみせて言葉で伝えられたか心もとないと、反省の限りの私から学び取り頑張ってくれて感謝しています。彼女達がきものを喜んでくれて私の方がもつとうれしかったです。

山原学院長からたくさん教えてもらったことを次の方へ渡していけるようないろんなことに参加してみようと思います。

NPO和装教育 賛助会員

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 山原 昌娃 | 久木満津美 | 織田しずゑ |
| 藪下 全子 | 宮島まり子 | 西 春美 |
| 山田 清美 | 石川 勝子 | 岩城 圭子 |
| 竹ヶ端富美江 | 中座 道子 | 藤高 法子 |
| 松田 恵子 | 会津メイ子 | 小野 敏子 |
| 石端 雅子 | 田中カフミ | 市塚 桂子 |
| 八野田美智子 | 新古 嘉子 | 藤澤 久江 |
| 松田 浩美 | 西谷 洋子 | 岡 豊子 |
| 高松美智子 | 橋谷多津子 | 堀井 紀子 |
| 館谷喜美子 | 南 祐記 | 瀬戸 好美 |
| 坂本 一羊 | 東谷真紀子 | 丸田 真弓 |
| 二口 富子 | 小山 貞子 | 鶴見 智恵 |
| 浅井美智子 | 川本 和美 | 前田 里恵 |
| 松本 敬子 | 吉田 明美 | 神前 淳子 |
| 大谷 礼子 | 宮本富美子 | 岩城 孝子 |
| 清水美奈江 | 谷内喜美子 | 尾田美千代 |
| 山口 節子 | 豊島 有里 | 竹口 悦子 |
| 久水 康子 | 松井三恵子 | 山本由美子 |
| 平 和美 | 丸吉ひとみ | 塩嶋 國子 |
| 東 きよえ | 後藤 幸子 | 野島 圭子 |
| 尾西ゆき子 | 吉本みちえ | 山本 民子 |
| 中出 満代 | 大矢 保子 | 西尾 恵子 |
| 角島 早苗 | 竹田 幸子 | 竹村 明子 |
| 澤 ひろみ | 荒木 祐佳 | 末吉 真美 |
| 江端 良子 | 中嶋 靖子 | 太田久美子 |
| 竹内 久美 | 徳本 角栄 | 細田 節子 |
| 守友 伸子 | 宮内 望未 | 三宅 章子 |
| 藤原 裕子 | 竹田 宏枝 | 後藤みつ子 |
| 太道比佐枝 | 八十田和代 | 向 悦子 |
| 平山 広美 | 黒崎真奈美 | 大野木玲子 |
| 清酒利津子 | 橋本亜希子 | 荒木 幸子 |
| 長澤 雅美 | 竹内 雅美 | 鈴木 裕子 |
| 相川 佳子 | 荒木 幸子 | 斉藤 幸子 |
| 白井 智美 | 上島洋子 | 松井 吉子 |
| 河原佐代子 | 瀬口 良子 | 田中ひとみ |
| 藤田 寿代 | 三浦 一枝 | 羽賀 正枝 |
| 山下 珠美 | 深浦 米子 | |

「ゆかたの着方教室」開催

門前の西谷先生が輪島市教育委員会へお願いしてありましたところ、輪島市立中学校家庭科の先生より依頼があり急ぎよゆかたの授業が行われました。男女合せて一クラス30名・50分ずつ2クラス行いました。家庭科の授業の中で「ゆかたの着方教室」は県内初です。

参加者

石川県支部事務局長 今西 渉
山原 昌娃・西谷 洋子・岡 豊子
高松美智子・橋谷多津子

浴衣着付け

帯結び苦戦

輪島中生

輪島市輪島中学校で十四日、一年生四、五組の計六十三人が家庭科の授業で浴衣の着付けを学んだ。涼しげな浴衣に身を包みながら、悪戦苦闘して額に汗を浮かべる生徒もいた。渡辺慶来君(三)は「自分で浴衣を着るのは初めて。帯を結ぶのは難しかったが、説明を聞きながら何とかできました」と話した。(松瀬晴行)



NPO法人の協力で、浴衣の着付けを学ぶ生徒たち。輪島市輪島中

「きものの着方こども教室」に参加して

金沢講師会 竹内 雅美

今年も金沢で「きものの着方こども教室」が開催され、お手伝いをさせていただきました。参加者は十三名で、浴衣の着付と半幅帯の結び、作動の所作など計十回の講座を行いました。

人に教えるために自分も勉強したり、質問をされて一緒に考えたり、他の先生方の教え方を見て新たに学んだりと、得ることが多い貴重な経験となりました。

地域の盆踊りや文化祭に参加したり、お茶会を催したりと、とても楽しい講座でした。先生方、参加していただいた皆様ありがとうございました。



小学六年 北村 彩恵

わたしは、その人に一番似合うヘアスタイルを見付けて笑顔にしてあげられるそんな美容師になりたいです。
また、伝統的な着付けはもちろん現代風の着物や帯のアレンジをたくさん勉強して、幅広い世代のお客さんに喜んでもらえる仕事がしたいです。



こども教室に参加して

中学二年 荒木 美藍

街やテレビなどで着物を着た人を見ると、「きれいだなあ」といつも思います。

小学校二年生から中学校二年生までの七年間、「こどもゆかた着付け教室」に参加していた私は、すっかりゆかたが大好きになりました。

最初はえりの向きやひもを結ぶ順番が覚えられなかったり、やっと着れてもかたがたっていたり、おはしよりが長すぎたり短すぎたりして、「ゆかたは難しい」という印象でした。

でも、小学校の文化祭や盆踊りに参加することになり、一人で着る練習をたくさんしているうちに慣れてきました。「ここもうちよつと出そ

う」とか「帯こう曲げたら可愛いかな？」と自分でアレンジや修正ができるようになり、今では「ゆかたは楽しい」と思っています。
これからゆかたを着る機会があれば、積極的に参加したいです。私に着物に興味を持たせてくれた尊敬できる素晴らしい先生方に出会い、日本の文化の体験ができたので着付け教室に参加できて本当によかったです。

きもの日



フォーラム七尾教室の参加の皆様

25年11月11日
北陸中日新聞

晴れの日飾る
着物の着付け
七尾で教室
山原昌娃きもの着付

実施された教室

- ・松井吉子きもの着付教室
- ・田中カフミきもの着付教室
- ・河原佐代子きもの着付教室
- ・フォーラム七尾教室



山原学院長申から着付けの指導を受ける受講生ら＝七尾市御被町で

学院（七尾市藤橋町）の着付け教室が十日、七尾市御被町のフォーラム七尾であり、受講生六人が山原学院長から着付けを学んだ。受講生は裾丈の長さの決め方や、腰ひもの

学院（七尾市藤橋町）の着付け教室が十五日の「きもの日」に合わせて、全国和装学院連絡会（京都市）が各地域で開いている。
（荒木正親）

強さに苦労しながら着付けを体験。難しい帯結びは一回繰り返し、名古屋帯や袋帯の結び方を学んだ。山原学院長は「正月など晴れの日に着物を着るようになり、感覚をつかんでもうえれば」と手際よく指導していた。

学院だより

八月十一日



浴衣の着付けボランティアを終えて

羽賀教室 講師 江上 育子

平成25年8月に、星稜大学のおもてなし娘サークルから、「浴衣の着付け」をしてほしいとお話をいただきました。

おもてなし娘の方々は、夏と冬に「ひがし茶屋街」にて観光ガイドのボランティア活動をさせております。

私たちも趣旨に賛同し、8月10、11、24、31日の4日間、8人の学生の着付けをボランティアとしてお引

き受けいたしました。

先生方のお蔭で「綺麗に着付けをしてもらえた。」とサークルの皆さんも喜んでおり、これを機会に着物にも興味をもってもらえるきっかけになればと思いました。

お忙しい中ご協力いただいた先生方、大変ありがとうございました。

九月十五日

金沢準師範会と七尾準師範会合同の研修会を開催しました。



七尾準師範会 山本由美子

平成25年度の勉強会は金沢準師範会と合同で行い交流を深めました。

まず6月に七尾から13名が金沢へ、電車に乗り着物でのお出掛けは皆さん遠足の様に楽しそうでした、もちろん勉強もしっかりして来ました。

次は9月に金沢より19名を迎え七尾からも19名総勢38名での勉強会です。七尾市にも楽しんで帰って頂けるよう七尾食祭市場を会場としました。山原学院長の「着物について」の講義後、懇親会を兼ねた昼食会を行いました。同じ学院にいなから会って話をする機会も少なく、勉強を共にする事もなかったため、お互いが良い刺激・励みになったのではと感じました。今後も交流が続くと良いです。



十月六日

「フォーラムまつり」の発表会と体験学習に参加しました。



十一月十日

西谷教室の皆さんで公民館にて帯結び展示をしました。



十一月十六日

ダ・カーポさんのおっかけをしました。先に帰られた方ごめんなさい。



一月十一日

七尾市文化協会の「新春の集い」へ参加。



一月十二日

成人式着付け手直しボランティアに今年も参加。中能登町も実施。



二月二十七日

「翔」発行の編集委員の研修会 講師は中日新聞七尾支局長 小畑一成様。三月には名古屋へご栄転。



三月三日

「ひなまつり」かわいいおひな様達にきもの着付け。



四月十二日

お花見



金沢中日文化センター(旧教室)



フォーラム七尾(木)

フォーラム七尾(木) 教室も夜のボンボリと桜ふぶきで楽しみました。各教室で行事をされた場合写真を送って下さい。

四月二十八日

フォーラム七尾四階ロビーにて展示させていただきました。

半巾帯、名古屋帯、袋帯を週替りにて火曜日、木曜日翔の会のマナーの皆様にも参加いただきました。



氷見教室近況報告

師範会 田中 孝美

今年の夏、我が家の畑の真ん中に向日葵の花が咲きました。孫にせがまれて植えた種が大きく成長し見事な大輪の花を咲かせました。

さて、氷見教室の現況ですが、結婚を機に氷見を離れる方や老老介護の世代になり勉強会への参加が難しくなった方などで会員数は年々減少傾向にあります。

それでも、お互いに連絡を取り合い、近況報告などの話をするよう心がけています。

先日は、九月と十月に結婚されるお二人のお祝いを兼ねて食事会をしました。久しぶりの方もいらっしやうて、とても楽しいひと時を持つことができ、お腹も心も満足感で一杯でした。

氷見と七尾は、自動車専用道の一部開通でずいぶんと近くなりました。来年には、七尾まで全線開通となる見込みだそうです。七尾に足が向く回数が増えるかも…。

百万石踊り流しに参加して

金沢講師会 齊藤 幸子

六月七日土曜日、初めて「百万石踊り流し」に参加させて頂きました。

踊り流しでは、「ふれあい音頭いね金沢」「金沢ホーヤネ」「百万石音頭」の3曲を踊ります。私はまだ完璧に踊りをマスターしていなかったのでもドキドキしながら始まりを待っていました。そんな時、皆さんと円陣を組んでの「ガンバロー」の掛け声は、不安だった気持ちを一遍に吹き飛ばしました。リラックスした気持ちで踊りが始まり、爽やかな汗と心地よい疲れとともに無事最後まで踊り終える事が出来ました。心を合わせて踊った踊り流しは、とても楽しくて大切な思い出のひとつになりました。

また、学院としても初めての参加でしたが、山原学院長を初めお世話して下さった先生方のきめ細かな配慮に感動しました。この日の為に考えてくださったお揃いの帯結びに髪飾りと香り袋。踊りの合間には、お茶や差し入れを頂き本当にありがとうございました。

また皆さんと一緒に踊り流しに参加できる事が楽しみです。さて、今度はおっと上手に踊れるかしら…。

踊り参加者名簿

塩嶋國子 東きよえ 後藤幸子 尾西ゆき子
吉本みちえ 山本民子 中出満代 大矢保子
西尾恵子 角島早苗 竹田幸子 竹村明子
澤ひろみ 鹿島つや子 荒木祐佳 相川桂子

鈴木裕子 橋本亜希子 齋藤幸子 白井智美
竹内雅美 長澤雅美 村上黎子 山田清美
西 春美 敷下全子 岩城圭子 中座道子
浅井美智子 松本敬子 川本和美
山原昌佳 平山広美



七月三十一日

七月二十日の資格授与式の折に募金した東日本震災義金。

皆様の気持ちを託しました。ありがとうございました。

【29日】
▽七尾市院橋町の山原昌佳さんの寄付学院一同写真が「東日本大震災義金」に役立ててと20日に市内で開いた「資格授与式・半巾帯白撰」に参加した生徒ら約140人が寄せた善意20万8000円。

総踊り参加

山原昌娃 瀬口良子 河原佐代子 深田恵子
 深田紀恵 田中ひとみ 藤田寿代 田中カフミ
 市塚桂子 山田清美 竹々端寛美 西村利江
 松田浩美 浜崎節子 酒井道子 水野芳子
 山本由美子 清水美奈江 竹口悦子 榎本高樹(簗)
 久水康子 尾田美千代 松井三恵子 小林美紀
 大谷礼子 山口節子 神前淳子 平 和美
 保志由起子 平山広美 竹田宏枝 清酒利津子
 細田節子 向 悦子 三宅章子 黒崎真奈美
 藤原裕子

着付けボランティア

4..30~6..30 ゆかた着付け

山原昌娃 山田清美 田中ひとみ 藤田寿代
 竹口悦子 久水康子 尾田美千代 松井三恵子
 宮本徳子 小林美紀 大谷礼子 山口節子
 平山広美 竹田宏枝 清酒利津子 細田節子
 向 悦子 三宅章子 黒崎真奈美 保志由起子



七尾市作成のポスターに当学院が載りました。



行事予定

- ◆ 十月二十六日
フォーラム七尾まつり芸能発表会
(二十三日、二十五日 体験学習)
- ◆ 十一月二日
七尾市民文化祭
- ◆ 十一月九日
於 サンライフプラザ大ホール
- ◆ 十一月十六日
全国一斉無料きもの着付け講習会
- ◆ 十一月十六日
指導員資格試験 於 七尾
- ◆ 十一月十一日
「成人式」着付け手直しボランティア
- ◆ 二月二十二日
「きもの集い」 於 あえの風
- ◆ 五月十七日
全国きもの指導者協会の総会
- ◆ 六月二十一日
於 沖繩リサンシーパークホテル
- ◆ 講師資格試験 於 京都

広告を協賛して頂きました各社に厚く御礼を申し上げます。

表紙の写真・文

表紙写真は、大正池から見た上高地です。残雪を乗せた穂高の山々、梓川から上がる川霧、それらを鏡のように映す大正池の姿は、日本の自然の代表と云えるかも知れません。更に奥へ行けば、明神池、涸沢、槍ヶ岳などの感動的な風景に出会うことができます。

(七尾市在住の写真家・島本茂氏の作品)

編集後記

読まれた方の「文字が小さい」というご意見を受けて、本号より文字を大きくしました。読み易くなったでしょうか。今回は新しい行事、取組が多く、金沢の会員の活躍がうかがわれます。各教室の取り組みをお知らせください。

「山原昌娃きもの着付学院」のホームページが充実しています。行事紹介やアルバム、学院誌の前の号、会員連絡などがあります。アドレスは <http://yamahara.web.fc2.com>

ですが、「山原昌娃きもの着付学院」と入力し検索してもつながりません。是非のぞいてみてください。(細田)

編集委員

山原昌娃 瀬口良子 河原佐代子
 細田節子 宮島まり子

発行 第三十号 平成二十六年九月一日発行
 全国きもの指導者協会認定校

〒926-0816 七尾市藤崎町寅二二六一
 TEL (〇七六七) 五二一六二五
 FAX (〇七六七) 五二七五五六

〒926-0816 七尾市古府町へ部三十四番地一
 TEL (〇七六七) 五三三八〇〇
 編集 翔 編集委員会
 責任者 山原 昌娃
 印刷 第一印刷株式会社

和の心 春直呉服店

呉服・和装小物・寝具・きものクリーニング

〒926-0048 七尾市松物町2
TEL 0767-53-0423 FAX 0767-52-9033
営業時間:10時~18時 / 定休日:日曜・祝日

ブログ <http://harunao529.blog17.fc2.com/>
Facebook『和の心 春直』も御覧下さい



ファッションクリエイター



呉服
洋装

松本

ジャントール松本

〒926-0806 石川県七尾市一本杉通り
TEL (0767) 53-0086番(代)
FAX (0767) 53-6020番

豊かな暮らしを演出する



新築・リフォーム・宅地売買
宅地建物取引業 石川県知事第(8)2226号

シティハウス産業株式会社

〒926-0818 石川県七尾市馬出町八部51-3番地

TEL 0767-53-2133

FAX(0767)53-7910

ブログ・ホームページ
Facebook

シティハウス産業

検索  CLICK

あなたの想いをカタチにします。



DESIGN COMMUNICATION
CORPORATION IDENTITY
ADVERTISING
WEB SITE
EDITORIAL DESIGN
PACKAGE DESIGN
PRINTING

SOLUTION!



ZOUN
magazine



<http://www.zoun.jp/>

第一印刷株式会社

URL www.daiichiprint.co.jp E-mail info@daiichiprint.co.jp

- 本社 石川県七尾市古府町へ部34番地1
TEL0767-53-3800 FAX0767-53-3556
- 金沢営業所 石川県金沢市西念4丁目19番17号
TEL076-233-3033